

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	
山口市	平川地区(岡小路、小出、河内、中村、西、吉野、堂紺、平野、田屋島、福良、小原、 上平井、古曾中原、平井西、指出、馬木領、中野、馬木坂本、神郷、岡大塚) 大内地区(問田)	
当初作成年月	直近の更新年月	今回の更新年月
平成25年1月	平成31年2月	令和3年3月

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	219.8 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	131.5 ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	33.3 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	7.9 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.2 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

- ・黒川以外の地域については、住宅と農地が混在している箇所が多く、農地の集約化を進めることが難しい。
- ・農地によっては水の確保や管理が難しい場所がある。
- ・中心経営体においても高齢の方が多く、地域内での担い手が不足している。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

- ・地域の若い人に地元でも農業ができることを知ってもらい、将来の担い手となってもらうきっかけをつくる。
- ・農業者同士で情報共有をしながら、イベントなどを通じ、販売する機会を増やしていく。
- ・農地中間管理機構等と連携をして農地の集約を進めていく。

4 3の方針を実現するために必要な取組みに関する方針

- ・山口大学生協と連携し、学内での学生による野菜の販売を行うイベントを開催するなど、学生や地域住民に農業に興味・関心を持ってもらう機会をつくり、新たな担い手の発掘を行うとともに、イベントを通じた販路の創出も併せて行っていく。
- ・農地中間管理事業を積極的に活用し、農地の集約を進めていく。

5 中心経営体

7経営体

- ①現状の経営面積合計 36.5ha
- ②今後(5年後)の農地の引受けの意向 最大36.5ha